

ダブルカットバリダ粉剤DL

■種類名：カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン粉剤
■有効成分：カスガマイシン塩酸塩-----0.11%
[カスガマイシンとして-----0.10%]
トリシクラゾール-----0.50%
バリダマイシン-----0.30%

■登録番号：第22888号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：2011.03.02
■性状：類白色粉末 45μm以下
浮遊性指数20以下
■有効年限：3年
■包装：3kg×8袋

【特長】

- いもち病防除剤ダブルカットと紋枯病防除剤バリダシンの混合粉剤。
- ダブルカットは、いもち病菌の稲への侵入や病斑形成阻止に加えて、二次感染阻害作用を有することで、優れた残効性を示す。
- バリダシンは、紋枯病の進展阻止効果に優れる。

【適用内容】(2014年10月末日現在)

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カスガマイシンを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病	3~4 kg/10a	穂揃期 まで	2回以内	散布	4回以内 (種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	6回以内 (育苗箱灌注は1回以内、本田では5回以内)

【効果・薬害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の製剤に比べ、見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 稲に使用する場合、次のことに注意すること。
 - ◆ 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないように全体に均一に散布すること。
 - ◆ 紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- れんこんには薬害を生ずるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には、薬害を生ずるおそれがあるのでかからないように注意して散布すること。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤食などのないよう注意すること。
誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。